

つるせ西だより



～今月の特集～
今年の抱負

第189号(1・2月合併号)2024. 1. 1

編集: 鶴瀬西交流センターだより編集委員会

発行: 富士見市立 鶴瀬西交流センター

〒354-0021 富士見市大字鶴馬3575-1 TEL:049-251-2791 FAX:049-255-9707

59



(写真左) 石塔の拡大

あけましておめでとうございます

今年の干支は「辰」。年賀状には「辰のおとしご」や「龍」が描かれます。

龍に会えるところはどこかと考え思い出したのが、利剣に龍が巻きついている「俱利伽羅不動明王」の石塔がある栗谷津公園でした。

この公園は、みずほ台駅に近い針ヶ谷地区にあり、昭和61年、区画整理事業によって作られました。土地の形状を利用しきれいに整備されています。岩の間からは今もこんこんと水が湧き出ています。

息子が小学校に入学したころ、近所のお兄ちゃんと「探検」に行ったところ。公園になる前は、うっそうとした森の中に、水が湧き、龍が見えて、「探検」になったのではと懐かしく思い出しました。

今年が災害のない、安心して暮らせる年でありますよう不動明王に祈ります。

(撮影・文/画角編集委員)

まちかどウォッチング

龍は水神ではなかった？

十二支の動物の中で辰(龍)だけが何で架空の動物なのか得心がいかず、図書館で資料を探した。

中国の故事来歴を調べると龍の起源は蛇から進化したと考えられていたが全く別物で、龍は「魚」の部類に入り蛇は「虫」部類とのことで、時の玉帝は龍を含む12種類の動物を選び干支の地位を認めたという。*これらに関しては諸説・寓話が多い。

市内には「龍」のどんな遺物があるのか資料館に助言を求めたところ、唯一石造物で栗谷津公園に俱利伽羅不動明王があることが分かった。

湧水前に建つ石塔(上記写真)に刻まれた龍は火焰を背に利剣に絡みつき先から飲み込む姿で威圧感がある。俱利伽羅不動明王は不動明王の変化したものとされている。

また、中国では「辰年は歴史的に荒れ模様」と言い伝えられ、過去に大事件が続き人民は漠然とした恐怖感を持っている。(川上編集委員)

つるせ西だより編集委員募集

身近なまちの話題を取り上げ、地域に親しまれる紙面を一緒に作りませんか? 詳しくは編集委員または事務室まで。